



新春のお慶びを 申し上げます

この一文を 年賀葉書に代え 私の年賀状として配信先の皆様にお届けいたします
日本色彩学会他の人達 360 人程に この「色彩教材研究会通信」を執筆・編集し 毎週木曜日にメール配信して 年末で 267 号になりました ご投稿もお待ちします

先ずは コロナ蔓延の中 皆様とご家族様のご健康とご活躍をお祈りいたします

私の近況は 一人暮らしを始めて六度目の 孤独で寂しいお正月を迎えました

春三月には八十六歳になります 足の麻痺が徐々に進行して 歩行と立居振舞に不自由をしており 外出も控え ラジオ体操と一日 5,000 歩の散歩だけが日課です

巣ごもりしながら 有機 EL 大型テレビの中の自然や街並景観の色を楽しんでいます

オミクロン型の蔓延が憂慮されていますので くれぐれもコロナ感染を避けて お身体を大切にお過ごしくださると共に 学会活動が 改革の年になりますように 更なるご協力をお願いいたします

令和四年 新春

永田泰弘

●新編色彩科学ハンドブック解説講座

日本色彩学会の教育普及委員会は、学会員の皆様に「新編色彩科学ハンドブック」について、より詳細な内容をお伝えすべく、「新編色彩科学ハンドブック」の解説オンライン講座開催を企画し、参加者を募集しています。

参加者には当該箇所関連の色彩科学ハンドブックのページが資料として配布されます。

◆第1回：第7章 色彩調和論

Moon と Spencer の色彩調和論・配色の感情次元・各種配色感情の物理量による推定・配色感情の個人差・色配色感情の面積比による影響および単色感情と配色感情の関係。

◆開催日時

2022 年 1 月 8 日 (土) 13:00~16:00

◆申込締切：1 月 4 日 (火) 直近です！

◆講師：酒井英樹先生：

◆参加費 (各回)：学会員 2,000 円

非会員 5,000 円

◆支払方法：Paypal 支払。

銀行振込 (三井住友銀行・三菱 UFJ 銀行)

※支払手数料は参加者負担。

◆申込 URL 第1回 1/8 (土)

<https://forms.gle/yce84vMv2bjgUtkg7>

◆第2回は第19章が予定されています。

(学会メールニュース No.256 から引用 永田泰弘)

●写真とソフトで迫る色風景の秘密

港千尋・三木学編著『フランスの色景—写真と色彩を巡る旅』(青幻舎、2014 年)

本書では、写真家・著述家の港千尋 (多摩美術大学教授) がフランス全土で撮影した 40 枚の写真と、三木学 (編集者・色彩分析) が自身の企画・開発した色彩分析ソフトを使って、フランスの風景に潜む配色の法則を明らかにしている。色景とは色風景の意であり、景色に含まれる色を表す。

ソフトはマンセル表色系の色空間に、写真に含まれる色をプロットしたり、色名を抽出できる。マンセル表色系を使うことで、色相やトーンなど、色彩調和論に照らし合わせた評価ができる。色名は日本の JIS 慣用色名 (和色名)、フランスの伝統色名、JIS 系統色名の割合を抽出しており、母語によって感じる色の違いの一端を視覚化している。

港の撮影したフランスの写真の色分布を分析すると、補色や類似トーンなど、驚くほどシュヴルール以降の色彩調和論に適合する。

日本の風景ではそのような分布はありえないだろう。その違いの理由を、気候や風土、文化から推測していく。風景が色彩感覚を養い、色彩感覚が風景を創って文化になっていく相互作用を示した意欲的な試み。(三木学)